



# 北「水爆実験」

# 初の成功と発表

【ソウル＝藤本欣也】朝鮮中央通信などによると、北朝鮮は6日正午(日本時間午後0時半)に政府声明として、朝鮮人民軍最高司令官でもある金正恩(オム・ジョンウン)第1書記の命令により「初めての水爆実験に成功した」と発表した。各国の気象当局はこれに先立つ、同日午前10時ごろ、北東部にある豊溪里核実験場周辺でマグニチュード(M)5.1の揺れを確認しており、北朝鮮が4度目の核実験に踏み切ったのは確実とみられる。

北朝鮮の核実験は2013年2月以来。北朝鮮の主張通り、

初の水爆実験に成功したなら、日本を含む国際社会に対する北朝鮮の核の脅威がいつそう高まることになる。8日の金正恩第1書記の誕生日を前に国威発揚を狙ったとみられる。

同通信によると、金正恩第1書記は昨年12月15日、水爆実験実施の命令を出し、今月3日に最終命令書に署名したとしている。

声明で北朝鮮は、水爆実験は、米国の核の脅威から国の主権と民族の生存権を守るための「自衛的措置だ」と主張。実験は「安全かつ完璧に行われた」と批判した。

6日午前に「人工的」揺れを観測したのを受け、安倍首相は、麻生太郎副総理兼財務相や岸田文雄外相、中谷元防衛相ら関係閣僚を官邸に集め、国家安全保障会議(NSC)で対処方針を協議。防衛省・自衛隊は北朝鮮関連の情報収集を強化するとともに警戒監視活動を強めている。

北朝鮮は金正日総書記時代の2006年と09年に加え、金正1書記も13年2月に核実験を行っていたが、いずれも原爆実験で、最初の2回は寧辺の使用済み核燃料から抽出したプルトニウムを使用したとされる。3回目にはウラン型の可能性も指摘されていた。



6日、水爆実験の実施を発表する朝鮮中央テレビ(聯合ニューステレビから・共同)

2015年9月に撮影された北朝鮮豊溪里の核実験場の衛星写真(エアバス・ディフェンス・アンド・スペース/38ノース提供・共同)

